

私の1冊を紹介します

# 第24回 読書メッセージコンテスト

## 素敵な本と出会いましょう

おすすめの本の紹介文を幅広い世代から募集する「読書メッセージコンテスト」。本との出会いが広がることを願って、村が毎年実施しているコンテストです。

第24回「読書メッセージコンテスト」の審査結果を公表します。入賞作品は、昨年11月の審査会で決定し、12月下旬に交流センター「ふれ愛館」といいたて希望の里学園で、表彰式を行いました。

素敵なメッセージをご応募いただいた皆様、ありがとうございました。



### 第24回 読書メッセージコンテスト 審査結果

(敬称略)

	氏名	おすすめの本・作者
最優秀賞	菊野八尋 (いいたて希望の里学園4年)	『カラスのいいぶん』嶋田泰子 著／岡本順 絵
優秀賞	鈴木愛斗 (いいたて希望の里学園2年)	『ムキムキだけじゃないぼくのきんにく』ミヤジュンコ 絵／いわまつ 監修
	福安夢七 (いいたて希望の里学園6年)	『ふたりのえびす』高森美由紀 作
	山田ゆり (いいたて希望の里学園8年)	『アップステージシャイなわたしが舞台に立つまで』ダイアナ・ハーモン・アシャー 作／武富博子 訳
	橋本雪那 (いいたて希望の里学園9年)	『絵で読む広島原爆』那須正幹 文／西村繁男 絵
佳作	落合庸子 (一般／飯館村役場)	『マンガ ぼけ日和』矢部太郎 著／長谷川嘉哉 原案
	長田緑 (いいたて希望の里学園3年)	『カレーライスほこわいぞ』角野栄子 作／佐々木洋子 絵
	庄司心羽 (いいたて希望の里学園3年)	『りんごかもしれない』ヨシタケシンスケ 作
	赤石澤永輝 (いいたて希望の里学園8年)	『スクラッチ』歌代朔 作
	宮里時真 (いいたて希望の里学園9年)	『あなのあいたおけ』プレム・ラワット 作／城井文 絵／マックス・ウィトル 訳
	高橋真弓 (一般／草野)	『塞王の楯』今村翔吾 作

普段自分では選ばない本との出逢いを楽しんでね。



受賞者の皆さんがおすすめした本は、交流センター「ふれ愛館」で貸し出します。お気に入りの1冊を見つけてくださいね。

## 入賞作品から

読書メッセージを紹介します



最優秀賞 菊野八尋さん  
(いいたて希望の里学園4年生)

皆さんがよく見るカラスはハシブトカラスと言います。ゴミをあさって、汚いと言われるカラスですが、カラスにも言い分があるのです。みなさんもカラスの言い分を聞いてあげてください。ちょっとカラスがかわいそうになるかも。



『カラスのいいぶん』  
嶋田泰子 著／岡本順 絵  
童心社



優秀賞 橋本雪那さん  
(いいたて希望の里学園9年生)

みなさんは、原爆の恐ろしさを知っていますか。この本には原爆が落ちる前と後の広島が解説を交えてリアルに描かれています。原爆の記憶は絶対に忘れてはいけません。残された私たちにできること、考えてみませんか。



『絵で読む広島原爆』  
那須正幹 文／西村繁男 絵  
福音館書店



優秀賞 落合庸子さん  
(飯館村役場)

認知症について、症状から対応方法まで大切なことが専門書並みに書いてある、なのにマンガでさらっと読んで心があたたまる本。認知症の方と関わる人だけでなく、いつかは年をとるすべての方に読んでもらいたい、素敵な一冊です。



『マンガ ぼけ日和』  
矢部太郎 著／長谷川嘉哉 原案  
かんき出版